旧　倫　理

（解答番号 1 ～ 33 ）

第１問　以下のⅠ・Ⅱを読み，後の問い（問１～８）に答えよ。なお，会話と問いの**A**と**B**は各々全て同じ人物である。（配点　24）

Ⅰ　次の倫理のレポートの**課題**について，高校生**A**と**B**が後の会話を交わした。

課題

超有能な技術者があるアプリを開発したとします。そのアプリを使えば，あなたは好きな物語を作って，その中で登場人物として人生を送ることができます。なお，物語には好きなキャラクターを登場させられますが，現実の人と一緒に参加はできません。あなたがもしアプリを利用するとしたら，どのような物語を作りますか？　もし利用しないとしたら，それはなぜですか？　授業で学んだ古代の思想家の考えを用いて，あなたの考えを述べなさい。

A：ほんと，レポートって苦行だよね。でも，ⓐ望むままに楽しめる人生を作れるって，わくわくするな。

B：何ニヤニヤしてるのさ。で，どんな人生の物語にするわけ？

A：ⓑ苦痛や苦労なんてない，ただただ楽しくて楽な人生に決まってるよ。

B：うーん，努力や苦労も重要じゃない？　部活だって，日々のつらい練習や友人との意見の対立，失敗体験とかが自分の高校生活を豊かにしてくれた気がする。このアプリではそうした体験はなくなる気がするよ。

A：なくていいからだよ。私なら楽をして大会で大活躍っていう人生にするね。

B：それくらいならいいけど，部活のライバルの失敗を喜ぶみたいに，人として善くないことを楽しんだりしないかな。キリスト教によれば人間はⓒ根源的に罪深いっていうよね。

A：言われてみれば，ⓓ楽しみには善いものと悪いものがあるね。この区別，なんとなく分かるけど，深く考えてみたことなかった。調べてみようかな。

問 1　下線部ⓐに関連して，次の**ア**～**ウ**は，様々な宗教や思想家による人間の望みや欲望についての説明である。**ア**～**ウ**から適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 1

ア　旧約聖書の十戒では「隣人の家を欲してはならない」と定めており，人間が望むままに他者の所有物を欲しがらないよう戒めている。

イ　イスラームでは，個人の欲望を心から消し去るため，俗世を離れてただひたすら神への信仰を追求することこそが価値ある生き方とされている。

ウ　荀子は，人間の欲望に基づく行為を人為的だと批判し，欲望を抑制して慎み深くし，聖人の定めた礼に従うことを説いた。

① **ア**　② **イ**　③ **ウ**　④ **ア**と**イ**
⑤ **ア**と**ウ**　⑥ **イ**と**ウ**　⑦ **ア**と**イ**と**ウ**

問 2　下線部ⓑに関連して，仏教における苦をめぐる思想についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 2

① 愛別離苦とは，特定の誰かを愛すると，他の人と区別することになり，万人と平等な関係を築くことができなくなることを表している。

② 怨憎会苦とは，怨(うら)みや憎しみを向けられることを恐れるあまり，人と会い関係を持つことが難しくなる苦を表している。

③ 求不得苦とは，特定の身分に生まれた者でない限り，解脱への道は求めても得られないという苦を表している。

④ 五蘊盛苦とは，我々の身体と心が活動し続けていること自体が苦の源泉であることを表している。

問 3 下線部Ⓒに関して，次の**ア**～**ウ**は，キリスト教における原罪思想についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 3

ア 旧約聖書の「創世記」では，最初の人間であるアダムが神の言い付けに背いて禁断の果実を食べたために，楽園を追放される物語が描かれている。そして，アダムの子孫としての人間に引き継がれた根源的な罪が，キリスト教では，原罪と呼ばれるようになった。

イ 熱心なパリサイ(ファリサイ)派であったパウロは，自分の望む善は行わず，望まない悪を行ってしまう自分の罪に気付いた。そして，こうした罪はあらゆる人間が負う原罪に由来するものであることから，その罪を贖(あがな)うために隣人愛を実践することを説いた。

ウ 教義の確立に貢献した教父の代表的な存在であるアウグスティヌスは，原罪を負う人間が神の恩寵によって救われると考えた。そして，その救済は神の代理者である教会を通じてのみ可能になるとして，神の絶対性とカトリック教会の権威を基礎付けた。

①	ア 正	イ 正	ウ 正	②	ア 正	イ 正	ウ 誤
③	ア 正	イ 誤	ウ 正	④	ア 正	イ 誤	ウ 誤
⑤	ア 誤	イ 正	ウ 正	⑥	ア 誤	イ 正	ウ 誤
⑦	ア 誤	イ 誤	ウ 正	⑧	ア 誤	イ 誤	ウ 誤

問 4　下線部ⓓに関連して，次の**資料**１・２は**A**と**B**が図書館で見付けた，古代思想の快楽をめぐる文章である。それぞれの**資料**から読み取れる思想を比較した文章として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 4

資料１　エピクロス『メノイケウス宛書簡』より

快楽が人生の目的だと言うとき，我々は浪費家の快楽や，性的享楽の快楽のことを述べているのではない……。なぜなら……魂を最も動揺させる思惑を取り払う醒(さ)めた分別こそが，快楽のある生をもたらすからである。

資料２　『スッタニパータ』より

悪魔パーピマンが言った，「子を持つ者は子について喜び，牛を持つ者は牛について喜ぶ。人の喜びは執着から生まれる。執着の対象を持たない者は，喜ぶことがない」。ブッダは答えた，「子を持つ者は子について憂え，牛を持つ者は牛について憂える。人の憂いは執着から生まれる。執着の対象を持たない者は，憂えることがない」。

① エピクロスは，ぜいたくや性的享楽への思いを捨てることで，快楽から解放されて生きることができると考えている。同様にブッダも，子や牛のような，愛する人や財産を持たないことで，憂いから解放されると述べている。

② エピクロスは，ぜいたくや性的享楽が快いというのは迷信であり，それらは快楽ではないと認識するべきだと考えている。同様にブッダも，愛する人などに感じる喜びは，悪魔の見せる幻想にすぎず錯覚であると説いている。

③ エピクロスは，ぜいたくや性的享楽に魂が動揺しないためには，醒めた分別が必要だと考えている。一方，ブッダは，喜びと憂いの源泉が執着であると見極めた上で，執着を捨てずに憂いのみを断つ道を模索している。

④ エピクロスは，ぜいたくや性的享楽を楽しむことは精神的不安をもたらすので，別の快楽を追求するべきだと考えている。一方，ブッダは，そもそも所有物などによる世俗的な喜びを追求すべきでないことを示唆している。

Ⅱ　次の会話は，快楽について図書館で調べてきたAとBが，これまでの学びを振り返りながら交わしたものである。

B：快楽って善くないことを楽しむようなイメージがあったけど，快楽の内容を厳しく見つめ直すことを通して，ⓔ人間の理想的な生き方を探し求めた思想家もいたんだね。

A：倫理のレポートの話も，自分の考え方を見つめ直せっていう意図なのかも。

B：そうだね。ただ，やっぱりアプリを使うのはちょっと気が進まないな。

A：え，試すのも嫌なの？　私はアプリで色々試して，人間にとっての真の快楽とは何か追求してみたいな。厳しい戒律を定めるⓕイスラームが認める快楽がどんなものか，気になるし。

B：自分だけの世界で，自分のためだけに理想の快楽を追求するのは，やっぱり問題じゃないかな。社会や人とのつながりの中で生きていることは変えられないし，その現実を見るべきじゃない？

A：うーん，アプリの中のキャラクターと，人間関係を築くこともできるよ。

B：結局それって自分が作り出したものだよね。不快なことを言われたりすることもあるけど，現実の世界で，自分とは違う人とも意見を交わしながら生きることが大切なんじゃないかな。

A：どうだろう。孔子はⓖ己の欲せざる所は人に施すなかれって言うよね。自分が不快なことは誰だって言われたくないし，言うべきではないよ。

B：そうだね。でも，不快だけど自分にとって善いこともあるよ。この間，私がクラスメートを論破して気分爽快だったとき，Aは相手をやり込めるのは間違っているって指摘してくれたよね。そう言われて不快だったけど，論破ではなく一緒に考えるのが議論の目的だって気付かされたよ。

A：なるほど，確かにあのときは，自分の快楽のためではなく，Bにこうあってもらいたいという気持ちで言ったな。そうか，Bの言うとおり，快楽とは感じられなくても，自分にとっても人にとっても善いことは確かにあるな。

問 5 下線部ⓔに関して，様々な宗教や思想に基づいた，人間の理想的な生き方についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

5

① プロティノスは，万物が究極原因である一者から流出したとし，その一者と一致して生きることを理想とした。

② ブッダは，真実の自己や宇宙の根本的原理を探求し，梵我一如を悟ることを理想とした。

③ 荘子は，天地自然と一体となり，物事にとらわれない絶対的に自由な境地に遊ぶ大丈夫を理想とした。

④ キリスト教の教父たちは，父なる神と子なる信者と聖霊の三位一体を信仰することを理想とした。

旧倫理

問 6　下線部ⓕに関連して，次の**資料**は，現世と来世の快楽についてのクルアーンの章句である。イスラームにおけるクルアーンについての記述および**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 6

資料　クルアーンより

・そしておまえ(不信仰者)たちに与えられたどんなものも，現世の享楽であり，その装飾である。一方，アッラーの御許(みもと)にあるものは一層良く，一層残るものである。それなのに，おまえたちは悟らないのか。

・信仰を拒む者たちの諸国での活躍がおまえを惑わすことがあってはならない。わずかな享楽であり，それから彼らの棲家(すみか)は火獄(ジャハンナム)である。またなんと悪い臥所(ふしど)であるか。一方，主を畏れ身を守った者たち，彼らには下に河川が流れる楽園があり，彼らはそこに永遠に，アッラーの御許からの歓待として。そしてアッラーの御許にあるものは敬虔(けいけん)な者にとってより良い。

・楽園の住民はその日，(楽園のあらゆる快楽の)従事に喜々としている。彼らと彼らの妻たちは木陰で，寝台にもたれかかっている。彼らにはそこで果物があり，彼らには彼らの求めるものが(全て)ある。

① クルアーンは，ムハンマドに下された神の啓示であり，**資料**には信仰を拒む者は現世の享楽も来世の快楽も得られないと書かれている。

② クルアーンは，神の教えをムハンマドが説明したものであり，**資料**には現世で神への信仰を守った者は来世で快楽を得ると書かれている。

③ クルアーンは，神によって下された最後の啓示であり，**資料**には楽園の快楽が現世で得られる物質的な快楽から想像しやすい形で書かれている。

④ クルアーンは，生活のあり方の全てを規定する聖典であり，**資料**には現世の一切の享楽を拒否すれば来世の快楽が得られると書かれている。

問 7 次の**資料**は，下線部ⓖの言葉についての解説である。**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 7

資料 『朱子語類』より

「(孔子の言う)『己の欲せざる所は人に施すなかれ』とは恕のことですが，罪人に刑罰を加えるのは，刑罰を加える人が刑罰を受けたいはずもないので，恕ではないですね」と言う人がいた。さて，どう答えるべきか？ ……「恕は忠とともに考えよ」という説に尽きる。忠とは自分の真心を尽くすことであり，真心を尽くしてこそ恕となる。罪人に刑罰を加えるのは，罪人に本当に罪があり，その心の中でもそうであるべきだと思っているから刑罰を加えるのだ。「欲せざる所」を強いて行うのではない。罪人が刑罰を「欲せざる」のは，私心がそう表れているのであって，その真心では，罪を犯せば刑罰を受けて当然だと承知している。最近の人は忠を理解できずに恕を行おうとするので，その場限りの上辺だけの行いとなる弊害がある。

① 自分なら刑罰は受けたくないからと，罪を犯した人に刑罰を加えようとしないのは，思いやりのある行為である。

② 真心を尽くして考えれば，罪を犯した者が，自分は刑罰を加えられて当然であると考えていることが分かる。

③ 相手の私心と自己の私心とを区別できないでいることが，自分の真心を尽くして考えることを困難にしている。

④ 真心の理解が不十分であることによって，私心を尽くせないままでいると，上辺だけの行為となってしまう。

旧倫理

問 8　後日，**A**と**B**は次の会話を交わした。46 ページの会話も踏まえて，会話中の空欄 **a** に入る記述として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 8

A：倫理のレポートどうした？

B：人間は社会的動物だっていう観点から，アプリを利用しないって書いたよ。

A：そうなんだね。私は改めて考えてみたけど，**a** と思ったよ。

B：へえ，それってつまり自分の利益や楽しみに還元されない価値を認めつつも，快楽の概念を再考するってこと？

A：まさにそのとおり。

B：面白いよ。レポートは身になる苦行だったんじゃない？　私は**A**との議論を通じて，古代思想から自分の生き方を吟味できたことが新鮮だったな。

① 自分の快楽のことばかり考えると，社会の中で生きているという現実を見落としてしまうという**B**の指摘には考えさせられた。だから，人とのつながりを自分の楽しみとして追求する道を模索してみよう

② 自分だけの世界を生きていると見落としてしまう善いものがあるという**B**の指摘には考えさせられた。だから，人と生きることの中にある善も，自分のためではないにしても人間としての一種の快楽と捉えてみよう

③ 快楽を吟味してそれを人間の理想とした思想家はいないという**B**の指摘には考えさせられた。だから，厳しい戒律を設けて苦行などを取り入れた立場にも耳を傾けて，より理想的な生き方を探求してみよう

④ たとえ自分にとっては不快でも，善いことは快楽と考えるべきだという**B**の指摘には考えさせられた。だから，自分にとって快楽と感じられなくても，友人とともに生きることも快楽とみなしてみよう

第 2 問　以下の**Ⅰ**・**Ⅱ**を読み，後の問い(**問 1** ～ **8**)に答えよ。なお，会話と問いの**C**と**D**は各々全て同じ人物である。(配点　24)

Ⅰ　次の会話は，高校生**C**が，正月の親戚の集まりで，親戚の大学院生**D**と交わしたものである。

C：ああ，おせちもお餅も美味(おい)しいな。正月の改まった集まりは慣れないけど，正月料理は毎日でも食べたいな。

D：はは，気持ちは分かるよ。でも，一年の節目に皆で集まって食事をすることにも，意義があると思うな。

C：その話，**D**が研究している<u>ⓐ民衆の生活や社会</u>と関係ある？

D：うん。餅を一緒に食べるのは，神道の儀礼が由来とされているよ。<u>ⓑ神</u>に食べ物を供えた後，皆で食べるんだ。いわゆる「神人共食(きょうしょく)」だね。

C：へえ，初耳。結構深い思想があるんだ。

D：神道だけでなく，<u>ⓒ安藤昌益</u>なども，食の観点から思想を展開しているよ。

C：なるほど。そういえば倫理の授業でも，<u>ⓓ茶道の思想</u>は食文化とともに育まれ，現代の食事作法などにも影響している，と習ったな。

D：うん。ちなみに，茶道の思想には仏教思想の影響もあるけど，<u>ⓔ食べることについての仏教思想</u>というものもあるんだ。

C：それも面白そう。食べることって，倫理の授業で習うような思想に通じているんだ。自分でも調べてみようかな。

旧倫理

問 1 下線部ⓐに関連して，近代日本の民衆の生活や社会に向き合った思想家についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

9

① 南方熊楠は，生物学の知見も踏まえた独自の民俗学研究を進めるとともに，古い社（やしろ）などに残る鎮守の森の保護運動を展開した。

② 安部磯雄は，社会主義の立場から社会問題や労働問題の解決に取り組んだが，後にその立場を捨ててキリスト教的人道主義に転じた。

③ 柳宗悦は，名もなき民衆の手になる工芸品を民芸品と呼んで，その中に実用を離れた装飾美を見いだし，民芸運動を展開した。

④ 植木枝盛は，イギリス流の穏健な民権思想を提唱し，主権在民の原則に基づいて，国民が政府権力と協調することを重視した。

問 2 下線部ⓑに関連して，古代日本の思想における神々や天地についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 10

① 『古事記』では，イザナギとイザナミは，混沌（こんとん）とした天地から高天原を産み出し，神々の住まう世界を形成したとされる。

② 古代の日本では，高天原の神々は，人間と異なり，占いなどを行わずとも上位の神々の意志を認識できる存在とされた。

③ 古代の日本では，高天原に常在する神々は，現実世界の事物や事象の働きから切り離された存在として祀（まつ）られた。

④ 『古事記』では，天地のはじまりのとき，神々は自然に出現したとあり，その背後に究極の神の存在は示されていない。

問 3　下線部Ⓒに関して，**C**は図書館で，安藤昌益が著した次の**資料**を見付けた。安藤昌益の思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 11

資料　『統道真伝』より

食は，人間や動植物にとって親のようなもので，道の大本である。だから，転定(てんち)*や人間や動植物は，全て食から生じ食を行う。……人間は食によって人間となるのだ。かつて人間は，上下貴賤(きせん)，儒教の聖人や釈迦と民衆との区別はなく，他事もなくただ食べるためにいた。……聖人や釈迦の教説や説法も，動物が鳴き吠(ほ)えることも，結局みな食を得ようとして行っている。だから世界には一つの食の道があるだけだ。しかし聖人や釈迦は……みずから食物を作らずに他人の作物を搾取しているため，内心後ろめたさを覚えて，食の道を説かないが，これは大きな過失である。

*転定：天地と同じ意味だが，安藤昌益は「定(ち)」を大海という意味でも使う。

① 農村の救済のため農作物の商品化を奨励した安藤昌益は，**資料**で，食料生産の方法を広めることで，搾取される人々を救う道を説いている。

② 人間の営む農耕が天地自然の生成活動と相互に関わり合うと考えた安藤昌益は，**資料**で，万物は等しく食から生じ，食に関わると述べている。

③ 儒教や仏教の堕落を批判し，社会の法制度の拡充と徹底を訴えた安藤昌益は，**資料**で，儒教や仏教の活動の目的も結局は食であると指摘している。

④ 封建社会を身分秩序に規定された法世であるとした安藤昌益は，**資料**で，聖人や釈迦は食に関わる必要がない例外的存在であると考えている。

旧倫理

問 4　下線部ⓓに関して，**C**は図書館で，茶道の思想に関する次の**資料**を見付けた。**資料**の内容に合致するものとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 12

資料　『南方録』より

紹鷗*は「見渡せば花も紅葉もなかりけり浦のとまやの秋の夕ぐれ（この浦を見渡してみると，花も紅葉も無く，ただ苫ぶきの粗末な家があるだけの秋の夕暮れである）」という定家**の歌の心にこそ，茶の心があるとした。花や紅葉は，書院台子***の立派な茶にたとえられる。花や紅葉をじっくり眺め尽くしてみると，それは無一物の境界，浦の苫屋である。花や紅葉を知らない人が初めから苫屋には至れない。眺め尽くしてこそ，苫屋のさび切った境地を見いだせる。

*紹鷗：武野紹鷗。戦国時代の茶人で千利休の師。
**定家：藤原定家。歌人。
***書院台子：茶の湯を行う座敷と茶道具を収める棚のこと。

① 茶道の本質は，花や紅葉のように美しく飾られた空間や道具の姿を凝視する先に見いだされる。したがって，その美しさを理想として，空間や道具を粗末な家のように貧相にしないことに努めるべきである。

② 茶道の空間や道具は，花や紅葉のように華美であってはいけない。むしろ，粗末な家のように侘しい空間や道具の中にも趣を見いだせるようになることが大切である。

③ 茶道の本質は，粗末な家のような何も無い境地に立つことである。ただしそれにはまず，空間や道具が花や紅葉のように立派に調えられた様子をじっくり見る必要がある。

④ 茶道の空間や道具は，一見立派でも，眺める間に散ってしまう花や紅葉のように儚く失われるものである。したがって，空間や道具に関心を向けるのでなく，粗末な家のようなさびの境地を目指すべきである。

問 5 下線部ⓔに関して，**C**は，食の観点から日本の仏教の思想史について調べ，次の**ノート**をまとめた。**ノート**中の空欄 **a** ・ **b** に入る記述の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 13

ノート

仏教を受容した人々には，慈悲や不殺生戒の思想に基づき，肉食を避ける傾向が見られた。例えば，**a** は，一切衆生が己の父母であると考え，肉食を戒(いまし)めた。一方，この傾向の中にありながらも，**b** は，人間は他の動植物の命を奪わないと生きられない罪深い存在だが，そうした人々でも阿弥陀仏による救済にあずかれると説いた。

① **a** 坐禅こそ仏の知を体得する道であり，公案を用いて坐禅修行に打ち込めば，あらゆる存在がそのまま悟りの世界になるとした道元
b 己の罪を強く自覚し，阿弥陀仏の慈悲の力にすがろうとする存在こそ，阿弥陀仏の正しい救いの対象であるとした親鸞

② **a** 大日如来の慈悲心が衆生へ加わり，それを衆生が三密修行を通じて受け止めれば，大日如来と一体化できると説いた空海
b 煩悩を抱えつつも極楽浄土への往生を願う凡夫は，妻帯して在俗の生活を送りながら念仏しなければならないと説いた法然

③ **a** 宇宙の根底に働く真理は大日如来そのものであり，あらゆる事象は大日如来の働きのあらわれであるとした空海
b どんなに努めても自力では煩悩を振り切ることはできないと自覚し，阿弥陀仏の本願他力を信じるべきであるとした親鸞

④ **a** 仏道をならうということは，自他の違いを理解した上で，自己の利益を忘れて他者を慈しむようになることであるとした道元
b 身分や能力の区別なくあらゆる者を平等に救う阿弥陀仏の力によって，この世に仏の世界が実現し得ると考えた法然

旧倫理

Ⅱ　次の会話は，食と倫理の関係について調べてきた**C**が，**D**と交わしたものである。

C：食と倫理の関係，色々な視点に通じてて奥深いね。ⓕ食は日常でも特に身近な営みの一つだからこそ，人間の生き方を問う倫理とも繋(つな)がるのかな。

D：いい気付きだね。実は，前に話した神人共食のような，正月などの特別な日に皆でする食事にも，元来は，共同体の豊穣(ほうじょう)や安穏を神に祈りつつ，人々の連帯を強める意味があるんだ。

C：面白いね。でも，仏教思想について調べたときは悩んだな。生きとし生けるものを尊び，他の生き物を食べることを戒めるという教えは理解できる。でも，生きるためには他の生き物を食べざるを得ないという考え方もあったね。どちらの言い分も一理あるよね…。

D：考えが揺さぶられるのは，自分で考えるよいきっかけだと思うよ。ⓖ宮沢賢治も似た問題に悩みながら，農民の暮らしに向き合ったというし。彼の思想についても，受け入れるかどうかは別として，調べる価値はあるかもね。

C：そうかも。あと，食べ物を作って提供する現場の人々に目を向けた点は，安藤昌益と重なるね。**D**の言ってた神人共食もそうだけれど，今回，食について考える中で，食を通じた自分と他の様々な人やものとの結び付きを意識できた気がするよ。

D：視野が広がったね。来年はおせちもお餅も一層味わい深くなるかもね。

問 6 下線部ⓕに関連して，『養生訓』を著し，日常の食事を通じた養生を説いた近世の思想家がいる。その思想家の名前を次の**ア**～**ウ**から，思想の説明を後の**エ**～**カ**から，それぞれ選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑨のうちから一つ選べ。 14

思想家の名前

ア 林羅山

イ 貝原益軒

ウ 中江藤樹

思想の説明

エ 朱子学の説く理は日常生活からかけ離れていて抽象的であるという観点から出発し，実用に即した道を求めて，古学を提唱した。

オ 朱子学の合理主義的・実証主義的な精神に基づき，博物学的な研究などに従事したが，晩年には朱子学に対して疑問を表明した。

カ 身分に応じて定められている礼儀は，朱子学の説く理の表れであるので，日頃からそれを守って生きることが大切であると説いた。

① **ア・エ**

② **ア・オ**

③ **ア・カ**

④ **イ・エ**

⑤ **イ・オ**

⑥ **イ・カ**

⑦ **ウ・エ**

⑧ **ウ・オ**

⑨ **ウ・カ**

旧倫理

問 7　下線部ⓖに関して，次の**資料**は，宮沢賢治の作品の一部である。**資料**の内容に合致するものとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

15

資料　『ビヂテリアン大祭』より

いくら物の命をとらない，自分ばかりさっぱりしていると云ったところで，実際にほかの動物が辛くては，何にもならない，結局はほかの動物がかあいそうだからたべないのだ，小さな小さなことまで，一一吟味して大へんな手数をしたり，ほかの人にまで迷惑をかけたり，そんなにまでしなくてもいい，もしたくさんのいのちの為に，どうしても一つのいのちが入用なときは，仕方ないから泣きながらでも食べていい，そのかわりもしその一人が自分になった場合でも敢て避けない……。けれどもそんな非常の場合は，実に実に少いから，ふだんはもちろん，なるべく植物をとり，動物を殺さないようにしなければならない，くれぐれも自分一人気持ちをさっぱりすることにばかりかかわって，大切の精神を忘れてはいけない……。

① 動物に辛い思いをさせるのはかわいそうだが，まずは自分の命を生かさなければならないため，やむを得ない場合には肉食も許される。

② 自分の命も他の動物の命も等しく尊いものなので，どんな動物の命も奪わないという大切の精神を日頃から徹底するべきである。

③ 多数の命のために他の動物の命を奪わざるを得ないときもあるが，自分自身もこのような命の連鎖の例外でないと自覚するべきである。

④ 肉食を避けることにこだわるあまり，他人に迷惑をかけてもよくないので，普段は肉も野菜も分け隔てなく大事に食べるのがよい。

問 8　**C**は**D**から渡された次の**資料**を読み，56 ページの会話との関連に気付き，ノートにまとめた。**資料**および 56 ページの会話を踏まえて，ノートの内容として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 16

資料　柳田国男『明治大正史　世相篇』より

飯事（ままごと）と称する児童の遊戯は……屋外の食事が盆とか春の節供（せつく）とかの定まった日に，非常な快楽を以（もつ）て企てられた名残であって，子供が忘れかねて今でも其（その）模倣をくり返して居（い）るのである。それ程又（ほどまた）手数のかかった重々しい支度でもあった。庭竈（にわかまど）を築いて多勢の食物を煮る日などは，今でも大人たちが直（す）ぐに昂奮（こうふん）する。理由は他人の中で食事をするということが，本来は晴（はれ）*であったからである。

*晴：ハレのこと。一年の節目や人生の節目のような，非日常の特別な状態を指す。

① **資料**からは，ハレの日に他の人々とする食事が，元来，子供のままごと遊びの再現であったことが読み取れる。**D**との会話でも，一年の節目に皆で食事を共にすることが，他の人やものとの関係を見直すきっかけになる，という気付きを得たのだった。

② **資料**からは，人々が日常生活の中で集団での食事を楽しもうとしてきたことが読み取れる。**D**との会話でも，仏教の思想家たちが，他の生き物を食べることを問題視しつつも，共同体の連帯を強めるために，肉食を認めてきたことを確認したのだった。

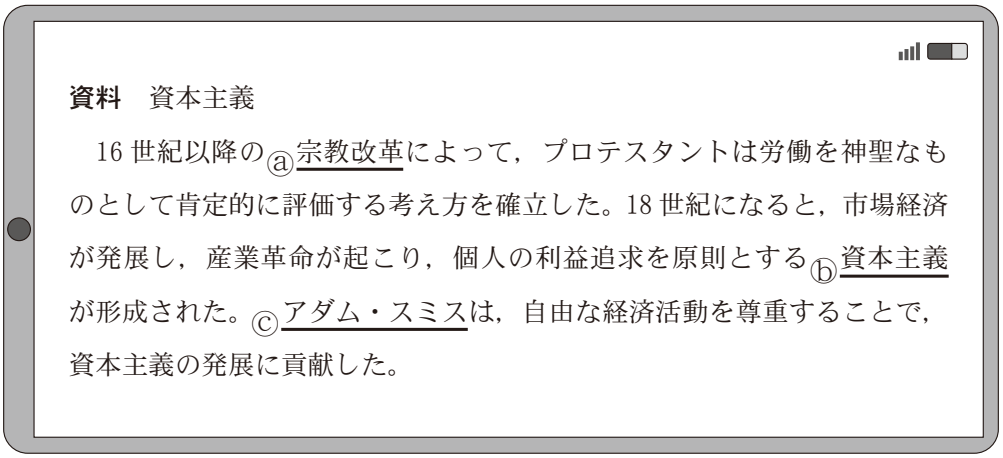
③ **資料**からは，人々が大人数の食事を作る手間を大切にしてきたことが読み取れる。**D**との会話でも，過去の思想家には食の生産者や提供者への意識が欠けていたが，今後はそれらの人々を含めて共食の意味を見直すべきだ，という課題が出たのだった。

④ **資料**からは，皆で集まって食事することは，日常では得られない特別な感情を伴ってきたことが読み取れる。**D**との会話でも，食や共食の思想は，人間の日々の生のあり方を律しつつ，神に対する人の向き合い方にも繋がっている，と分かったのだった。

旧倫理

第 3 問　以下の**Ⅰ**～**Ⅲ**を読み，後の問い(**問 1** ～ **8**)に答えよ。なお，会話と問いの**E**，**F**，**T**は各々全て同じ人物である。(配点　24)

Ⅰ　ある日の倫理の授業で，先生**T**が資本主義について説明した次の**資料**を配布した。高校生**E**，**F**は，タブレットで**資料**を見ながら，その内容について後の会話を交わした。



資料　資本主義

16 世紀以降の<u>ⓐ宗教改革</u>によって，プロテスタントは労働を神聖なものとして肯定的に評価する考え方を確立した。18 世紀になると，市場経済が発展し，産業革命が起こり，個人の利益追求を原則とする<u>ⓑ資本主義</u>が形成された。<u>ⓒアダム・スミス</u>は，自由な経済活動を尊重することで，資本主義の発展に貢献した。

E：労働が神聖なものって，すごいね。労働って，生活のために必要だからやらざるを得ないものじゃないの？　あんまり良いイメージを持てないな。

F：君はそうなんだね。私は働いている人って素敵だなって思う。働き方次第では大金持ちにもなれそうじゃない？

E：そうかな？　世間では働くことが大事だと言われているけど，どうも気が進まないんだよね。楽しそうに働いている人ばかりじゃないと思うし。

F：言われてみれば，そうかもしれないね。なんとなく労働は良いものだって思っていたけど，そうとは限らない気がしてきたな。

T：労働観だけでなく，社会の変化にも注目したいところです。資本主義の発展に伴って<u>ⓓ分業</u>の体制が確立したことで，労働者は複雑な仕事でも効率的に成果を出せるようになりました。ですが，資本主義は，貧困や格差といった社会問題を深刻化させたことも押さえておきましょう。

問 1 下線部ⓐに関して，宗教改革や対抗宗教改革(反宗教改革)についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 17

① イギリスのウィクリフやボヘミアのフスが，教皇の権威を正当化する主張を展開したことで，カトリック教会の改革への機運が高まった。

② 宗教改革は，万人平等の意識を培うことによって，近代の人間尊重の精神を生み出す一つの基盤となった。

③ 対抗宗教改革によって，信仰を個人の内面に認め，救済を信仰のみに求める福音主義という立場が成立した。

④ イグナティウス＝デ＝ロヨラは，神を信じる者は等しく司祭であると考え，厳格な規律を重んじてカトリックのあり方を改革しようとした。

問 2 下線部ⓑに関連して，資本主義を批判的に論じた思想家の考え方として適当な記述を次の**ア**～**ウ**のうちから全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。 18

ア ドゥルーズとガタリは，人間が様々な欲望を持つことを肯定し，資本主義のもとで国家や家族といった制度が欲望を抑圧すると批判した。

イ レーニンは，帝国主義が広がる当時の世界の状況を踏まえ，労働者と農民の同盟によるプロレタリア革命のみが社会主義を実現する道だと考えた。

ウ ハーバーマスは，社会の基盤を権力や貨幣などのシステムに委ねず，道具的理性を用いることで生活世界の植民地化から脱するべきだと論じた。

① **ア**　② **イ**　③ **ウ**　④ **ア**と**イ**
⑤ **ア**と**ウ**　⑥ **イ**と**ウ**　⑦ **ア**と**イ**と**ウ**

問 3 下線部Ⓒに関して，次の**資料**は，経済活動の根底にある共感の働きを論じたスミスの文章である。スミスの思想と，**資料**の内容や**資料**を踏まえた事例の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 19

資料 『道徳感情論』より

共感は，他の人の感情を見るだけで生じることがあると思われる。……例えば，笑顔は，それを見るどんな人にとっても愉快な対象であり，他方で悲哀に満ちた顔つきが憂鬱な対象であるのと同様である。しかし，このことは，どの感情にも普遍的に当てはまるわけではない。……時に私たちは，他の人の代わりに，その人自身が全く抱けないように思われる感情を抱くことがある。なぜなら，私たちがその人の立場に自分を置くとき，その感情が現実にはその人の胸の中で生じていないのに，想像によって私たちの胸の中で生じるからである。他の人の慎みのなさや無礼に対して，その人自身は自分の振る舞いが不適切だという感覚を全く持たないように見えても，私たちは赤面してしまう。

① 人間が労働の成果を交換する中で社会の秩序が自然に形成されると考えたスミスは，**資料**では，悲しみの感情を抱く他の人の身になってみてはじめて，その人と同様に悲しむことができると述べている。

② 私益の追求を犠牲にしてでも公益の増進を優先させるべきだと考えたスミスは，**資料**では，私たちが慎みのない他の人に共感するためには，その人自身が実際に自らの態度を不適切だと感じる必要があると述べている。

③ 人間の利己心を認めず「フェア・プレイ」に基づく公益の追求を推奨したスミスの**資料**に基づけば，事業に成功した他の人が笑顔になるのを見れば，自分もうれしくなる場合があるということが言える。

④ あくまでも法の範囲内で私益を追求すべきだと考えたスミスの**資料**に基づけば，賄賂を贈った他の人が自らを恥じていないように見えても，自分はその人の状況を想像して恥ずかしくなる場合があるということが言える。

問 4 下線部④に関して，次の**資料**は，労働の分業化について述べたヘーゲルの文章である。ヘーゲルの思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 20

資料 『精神哲学』より

分業は，抽象によって労働の内容を細分化することで成り立つ。……それと同時に，労働はますます抽象的となるが，そうした労働は，一面では，労働の単調さゆえに，労働が容易となり，生産が増大するという結果をもたらす。他面では，そうした労働は，単一の技能へ制限されるという結果に至る。そしてそのことによって，社会の連関に際限なく依存するという結果に至るのである。このようにして，技能それ自体も機械的になり，機械によって人間の労働を置き換えることが可能となる。

① 歴史の法則としての弁証法という原理を唱えたヘーゲルは，**資料**において，人間の労働が抽象的なものとなることで，機械によって置き換わることがあり得ると論じている。

② 人間は衝動に促されて苦の世界を生きているとしたヘーゲルは，**資料**において，労働が社会的関係に依存するようになった結果，労働に関わる技能が損なわれてしまうことになると説いている。

③ 精神が自己の理想を実現することこそ真の自由であると考えたヘーゲルは，**資料**において，分業の導入によって生産量が増大するがゆえに，労働そのものが容易になるのだと主張している。

④ 人間の自由が市民社会の中で最高の形で実現されると捉えたヘーゲルは，**資料**において，労働が分業によって複雑な作業から単純な作業へと転じることになると考えている。

Ⅱ　60 ページの会話が交わされた翌週の倫理の授業で，**T**が社会主義について説明した次の**資料**を配布した。**E**，**F**は，タブレットで**資料**を見ながら，その内容について後の会話を交わした。

資料　社会主義

産業革命以降，多くの労働のあり方が熟練労働から単純労働へと変わったことによって，労働から人間らしさが失われたとして，資本主義を批判するⓔ社会主義という立場が登場した。マルクスは，労働が資本家による搾取の場になっていると考え，自分ではやりがいをもって働いているつもりでも，実際には人間らしさが奪われていると説いた。

E：やりがいをもって働いていても，実際には人間らしさが奪われているという話はちょっと分かる気がする。

F：働いて稼ぐことに，ある程度の犠牲は付き物じゃない？　「身を粉にして働く」って言葉もあるくらいだし。社会貢献につながるかもしれないよね。

E：でも，長時間労働が当たり前になってる仕事もあるじゃない。いくら収入が得られるとしても，心や体を壊してまで働かなくちゃならないのかな。

F：確かに，それは見過ごせない問題だね。

T：そうですね。マルクスの考え方は後世に大きな影響を与えましたが，マルクス主義を疑似科学として批判したⓕポパーという哲学者がいたことも押さえておきましょう。

問 5 下線部ⓔに関連して，ドイツとイギリスにおける社会民主主義の源流となった思想について述べた説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 21

① ベルンシュタインは，資本主義の進んだ国ではマルクスの予測どおりに現実が進行していると考え，社会主義改革を実現しようとした。

② ベルンシュタインは，労働者の代表による議会活動を通して，少しずつ社会主義化を推し進めるべきだとした。

③ フェビアン協会は，労働者が搾取されることのない理想社会を描き，共同生活の村を実験的に作ろうとした。

④ フェビアン協会は，様々な立法活動や啓蒙活動を通じて，社会的不平等を急進的に改革しようと努めた。

問 6 下線部ⓕに関して，ポパーの科学哲学や社会思想についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 22

① 社会改革のあるべき方法は，人間の思考や行為を根底で支える構造を抽出して，人間の主体性を疑問視することにあると主張した。

② 科学とは，実験や観察を通じて経験的に検証された事実を積み重ねることによって成り立つ営みのことであると考えた。

③ 既に実証されていると思われる科学理論にも，その理論を否定する新たな事例によって反証される可能性が常にあると論じた。

④ 従来の社会改革論は社会全体の漸次的な変革を目指したが，未来社会についての価値判断と実証可能な事実判断を混同していると批判した。

Ⅲ　64ページの授業の後，**T**は次の**資料**1・2を配布し，その内容について**E**，**F**と後の会話を交わした。

資料1　I. イリイチ『シャドウ・ワーク』より

私が考えているのは，賃金の支払われない労働である。……これは，産業社会が財とサービスの生産を必然的に補うものとして要求する労働である。……それは賃労働と同様に，自立した生活を壊す。賃労働を補完するこの労働を，私は「シャドウ・ワーク」と呼ぶ。これには，女性が家やアパートで行う大部分の家事，買い物に関係する活動，家で学生がやたらに詰め込む試験勉強，通勤に費やされる骨折りなどが含まれる。……強制される仕事への準備，通常「ファミリー・ライフ」と呼ばれる多くの活動なども含まれる。

資料2　E. F. キテイ『愛の労働あるいは依存とケアの正義論』より

依存労働は，実際の条件のみならず，依存している人をケアするということから生じる道徳的配慮の要求によっても，依存労働者自身を傷つきやすい状態にする。……大抵の場合，人間関係の中で行われる道徳的配慮の要求は対等な個人の間のものであって，双方が互いに要求を出したり，退けたりできる。依存関係では，ケアされる子どもや高齢者に対してだけでなく，家計を支える人に対しても不平等な関係にあるため，依存労働者が自分自身のために，道徳的配慮の要求を行う能力は制限される。

T：何が労働とみなされるのかは，時代とともに変化してきました。労働の種類だけでなく，労働に携わる人の年齢や性別も多様化しています。

E：**資料**1では，家事や通勤などが賃金の支払われない労働とみなされています。そういう労働には，例えば先生が［ **a** ］も含まれるんでしょうか。

T：そのとおりです。**資料**2では，育児や介護などのように，社会的に弱い立場に置かれた他者の生活を維持するための労働が依存労働と呼ばれています。これは，具体的にはどういうことでしょうか。

F：**資料 2** では，例えば［ **b** ］ということが指摘されていると思います。子どもや高齢者のケアは，私たちにとっても他人事ではなさそうです。

T：そうですね。他にも労働とみなされそうな例はあるでしょうか。

E：これまで，家事や育児などを含めて労働を考えることはありませんでした。そういえば，文化祭の準備を手伝ったことを思い出したんです。とてもやりがいがあって楽しかった記憶があるんですけど，ある意味ではそれも労働になるんでしょうか。

T：そうかもしれません。労働といっても，やりがいや楽しみを目的としたものがありますね。とはいえ，やりがいがあっても賃金の支払われない労働に対する不満の声もあるようです。幅広い視点から労働を捉え直すことが大切ですね。

問 7　Ⅲの会話中の空欄［ **a** ］・［ **b** ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 23 ］

① **a**　家族のために食事の準備をすること
　b　家庭で介護に携わる人は，介護される高齢者に援助を求められたとしたら，その要求を拒むことが難しい状況にある

② **a**　保育所に通う自分の子どもの送り迎えをすること
　b　家庭で介護に携わる人は，介護される高齢者を援助した場合には，対等な個人としてその報酬を得ることができる

③ **a**　授業の間の休み時間にテストの採点をすること
　b　家庭で育児に携わる人は，家計を支える人に対して，対等な立場で互いに要求を出し合うことができる

④ **a**　ホームルームで出席を確認すること
　b　家庭で育児に携わる人は，子どもよりも自分自身の健康を優先する自由が制限されることがある

旧倫理

問 8　Ⅲの会話の後，**E**は，次の**ノート**を作成した。Ⅲの会話と**資料**１・２も踏まえて，**ノート**中の空欄 **a** ・ **b** に入る記述の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 24

> ノート
>
> 倫理の授業の後に，**F**さんや**T**先生と話したことで，自分の中での労働のイメージに変化があった。もともと私は労働について一方的なイメージを持っていたが，**a** ということを理解したからだ。また，**資料**１・２からは，**b** を読み取れるが，それは現代社会における労働の意味を考える上で重要なことだと私は思ったからである。自分にとって労働がどのような意味を持つのかを，これからも考え続けてみたいと思う。

① **a**　労働についての見方を形成するためには，賃金が支払われるとは限らない労働にも目を向けることが大事だ
　b　現状として，賃金の支払われる労働が，賃金の支払われない労働から切り離されているということ

② **a**　労働についての視野を広げるためには，労働の多様なあり方や労働者の置かれた社会的立場に目を向けることが大事だ
　b　人間の労働には経済活動以外の側面があるということ

③ **a**　労働についての視野を広げるためには，人間が労働において平等な関係に置かれているという現状に目を向けることが大事だ
　b　現状として，子どもや高齢者に対するケアが，対等な人間関係の中でなされているということ

④ **a**　労働についての見方を形成するためには，賃金の支払われない労働では常にやりがいが度外視されるという現状に目を向けることが大事だ
　b　人間は労働において不平等な関係に置かれる場合があるということ

旧倫理

第 4 問　次の文章を読み，後の問い(**問 1 ～ 9**)に答えよ。(配点　28)

地域社会は，そこに住む人たちが安心して暮らすための重要なコミュニティである。そこでの課題は，ⓐ自然環境や人口構成などの条件によって変わってくる。居住者の属性や出身の多様性が認識され始めている今日，多くの日本の地域で見られる共生に関する課題について考えてみよう。

地域によっては就労を目的として来日し，家族と生活する外国人も多くいる。そこでⓑ子どもの教育が課題となることもある。子どもの教育は，ⓒ人が充実した人生を送るのに不可欠であり，その権利は，国連で採択された「子どもの権利条約」にも掲げられている。こうした国際的な取決めを踏まえ，外国にルーツを持つ子どもたちが不就学や学習の遅れなどの問題に直面したとき，そうした子どもたちの健やかなⓓ成長に向けて，まずは政府や行政が就学機会の確保や日本語指導の充実化といった支援を行うことになる。

しかし，行政の取組みだけでは支援が十分に行き届かないことがある。例えば，行政機関に複数の外国語で対応できる窓口がなかったり，日本語教育の場を直接提供できなかったりする。こうした場合，自治体と協力体制を築きながら，地域住民が通訳や日本語教育のボランティアを行うことで，ⓔコミュニケーションの不全が解消され，不就学や学習の遅れのような問題の改善につながる。また，外国にルーツを持つ子どもや保護者が，こうして支援を受けて，地域住民と交流し，社会的なつながりを築くことができれば，ⓕ共通の経験に基づく記憶を共有することで形成される地域社会固有の文化に参加しやすくなる。

こうした課題を克服する中で，地域社会はより豊かなものになる。実際，より古くからの住民にとっても，異文化に触れることは，多文化共生の精神を育んだり，市民意識をより強く自覚したりする契機となり得る。また，多様な住民を巻き込みながら地域社会の結び付きがきめ細やかになれば，ⓖ困難な状況に置かれた者は日常的に支援を受けることができる。ここでは外国にルーツを持つ子どもを例としたが，高齢者や障害者などにも共通する点は多い。誰も社会から排除することなく，ⓗ全ての人が当たり前に暮らせる地域社会は，どんな人にとっても安心して過ごせる社会であるだろう。

問 1 下線部ⓐに関連して，人と自然の関わり合いについてはスチュワードシップという考え方がある。スチュワードシップに関する説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 25

① 例えば，ある産業活動が人々の健康や自然環境に甚大な被害をもたらし得るなら，科学的因果関係が証明されていなくても規制できる。

② 社会や産業を発展させ，それが，今を生きる人々のニーズを満たしつつも，将来世代まで続くことの可能性を模索する必要がある。

③ あくまで人間は他の生物の世話をする役目を与えられた存在であり，自然を搾取するのではなく，管理人として自然を保護するべきである。

④ 有限な共有資源への負荷を考慮せず，それぞれ好き放題に利益追求をすると，結果的に全員の利益が損なわれる可能性がある。

問 2 下線部ⓑに関して，教育や人間の知性について論じた思想家の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 26

① デューイは，人間の知性を環境に適応するための道具として位置付け，試行錯誤を通して問題を解決する能力の重要性を指摘した。

② デューイは，知識の発展を三つの段階で捉え，経験的に検証可能な事柄のみを知識の対象とした。

③ ジェームズは，人間は言語や神話や芸術などの多様な象徴(シンボル)を操ることによって世界を理解できる動物であるとした。

④ ジェームズは，神や価値に関する言説が，客観的な世界のあり方に照らして真偽を確かめられず，言語で表現できる限界の外にあると述べた。

問 3 下線部Ⓒに関して，次の**ア**～**ウ**は，充実した人生と密接に関係する心的状態を論じた人物についての説明である。**ア**～**ウ**から適当なものを全て選んだとき，その組合せとして正しいものを，後の①～⑦のうちから一つ選べ。

27

ア 神谷美恵子は，ハンセン病患者のケアを通して得られた洞察として，自分には果たすべき使命があるという感覚が生きがいにつながると述べている。

イ マズローは，欲求には階層性があると説き，最高次の欲求は，生理的欲求や自己実現の欲求といった欲求が満たされてはじめて現れるとした。

ウ アドラーは，自分は劣っているという感覚を克服しようとする思いが，人間の努力や成長の原動力になるとした。

① **ア**
② **イ**
③ **ウ**
④ **ア**と**イ**
⑤ **ア**と**ウ**
⑥ **イ**と**ウ**
⑦ **ア**と**イ**と**ウ**

問 4 下線部④に関して，次の**資料**は，レヴィンが青年について述べた文章の引用である。レヴィンの思想と**資料**の内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 28

資料 「場の理論と社会心理学における実験」より

マージナル・マンは二つの集団の境目にいるのだが，自分がどちらに所属しているのか自信がない。このような状況は，特権の少ないマイノリティ集団の成員，特にこのマイノリティ集団の中で相対的に特権の多い成員によく生じる。その種の成員は，マイノリティ集団を離れ，マジョリティ集団へ入ろうとしたがる。……青年もまた過度に敏感であり，すぐに極端な考えをし，特に自分より若い仲間の欠点に厳しい。……青年は，もう大人の集団よりも特権の少ない集団に属したいとは思わない。ただ，同時に自分が大人から完全に受け入れられていないことは分かっている。特権の少ないマイノリティ集団の成員と青年の立ち位置や行動は似ているため，マイノリティ集団の境界にいる成員の行動は，永続する青年期の行動と捉えられるだろう。

① 人間の発達を八段階からなるライフサイクルとして捉えたレヴィンは，**資料**では，青年のような過敏な心理状態や極端な思考は，マイノリティ集団の成員に全般的に見られるわけではないと述べている。

② 葛藤の概念を三つのパターンに分類したレヴィンは，**資料**では，青年は大人の集団に受け入れられたことを自覚して，特権を持つ大人の立場から，特権の少ない子どもに厳しく接すると述べている。

③ 人間の発達を八段階からなるライフサイクルとして捉えたレヴィンは，**資料**では，青年は特権を十分に認められない境界的状態を避け，安定した所属の感覚を求めて，自分より若い者の集団に再接近すると述べている。

④ 葛藤の概念を三つのパターンに分類したレヴィンは，**資料**では，マイノリティ集団に属する人の中には，いつまでも青年期のような，不安定な精神状態に置かれる人がいると述べている。

問 5　下線部ⓔに関連して，次の**資料**は，見知らぬ人との交流に関して行われた実験の説明であり，結果は次ページの**図**のとおりであった。**資料**と**図**を踏まえて，後の**考察**中の空欄 **a** に入る記述として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 29

資料

人々が見知らぬ人に話しかけない理由を検証した。まず，電車での通勤中の過ごし方について，「見知らぬ人に話しかけて会話を続ける」，「誰とも会話しない」，「いつもどおり過ごす」の 3 パターンを設定した。

次に実験参加者を以下のとおりトライグループと達成グループに分け，各グループに上記 3 パターンの場面を想像させた。

【トライグループ】

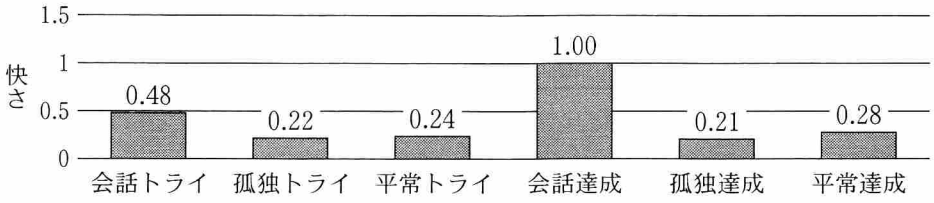
・会話トライ条件：見知らぬ人に話しかけて会話を続けようとする場面を想像
・孤独トライ条件：誰とも会話せずに過ごそうとする場面を想像
・平常トライ条件：いつもどおり過ごそうとする場面を想像

【達成グループ】

・会話達成条件：見知らぬ人に話しかけて会話を続けることができている場面を想像
・孤独達成条件：誰とも会話せずに過ごせている場面を想像
・平常達成条件：いつもどおり過ごせている場面を想像

その上で，参加者にそれぞれの場面で感じる快さを予測させ，－ 3（とても不快）から ＋ 3（とても快い）の範囲で評価させた。各条件における快さの平均得点は**図**のとおりであった。

図　各条件における快さの平均得点



（資料）　Schroeder, J.(他), *Journal of Experimental Psychology: General*, 151(5), 2022 より作成。

考察

資料と**図**によると，快さの平均得点が最も高いのは，会話達成条件である。したがって，電車での通勤の時間をできるだけ快いものにしたければ，人々は見知らぬ人に話しかけて会話を続けるのが合理的であると言えるだろう。しかし，現実には，人々は通勤時にはそのような行動をとらないようである。 **a** と人々が予測していると考えられる。

① その要因は，会話トライ条件と孤独トライ条件の得点差から説明できる。つまり，見知らぬ人に話しかけて会話を続けようとする場面は，誰とも会話せずに過ごそうとする場面ほどには快くないだろう

② その要因は，会話トライ条件と会話達成条件の得点差から説明できる。つまり，見知らぬ人に話しかけて会話を続けようとする場面は，見知らぬ人に話しかけて会話を続けることができている場面ほどには快くないだろう

③ その要因は，会話トライ条件と平常トライ条件の得点差から説明できる。つまり，見知らぬ人に話しかけて会話を続けようとする場面は，いつもどおり過ごそうとする場面よりも快いだろう

④ その要因は，会話達成条件と孤独達成条件の得点差から説明できる。つまり，見知らぬ人に話しかけて会話を続けることができている場面は，誰とも会話せずに過ごせている場面よりも快いだろう

旧倫理

問 6　下線部ⓕに関して，次の**資料**は，社会学者の M. アルヴァックスが記憶について述べたものである。その内容の説明として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 30

資料　『記憶の社会的枠組み』より

記憶を扱う心理学の概説書を読むと，人間が孤立した存在として考察されていることにとても驚く。私たちの心の作用を理解するには，個人に対象を限定する必要があるかのようである。……多くの場合，私が過去を思い出すのは，他の人々が自分に過去を想起するように促し，他の人々の記憶が自分の記憶を助け，自分の記憶は他の人々の記憶に支えられるからである。……過去の思い出がどこにあるのか，どこに保存されているのか，自分の脳の中なのか，それとも自分だけが近づけるどこか心の小部屋の片隅なのかを問うてみても無駄である。なぜなら，過去の思い出は，外部から呼び起こされたものだからである。自分が所属している諸集団に関心を向け，少なくとも一定の間，そこでのものの考え方を取り入れさえすれば，私はその諸集団から過去の思い出を再構成する手段を絶えず得られるからである。

① 記憶という心の作用を理解するには，まずは個人に対象を絞り，それがどのように保存されているか確かめた上で，集団に目を向ける必要がある。

② 過去を思い出すという行為は，主にその人が属するコミュニティの他者によって促され，その他者の記憶に依存して行われるものである。

③ 人は集団から自立して自己の力で過去を思い起こすことから，当人の心の中に過去の記憶はあると考えられる。

④ 人は何らかのコミュニティに所属しさえすれば，そのコミュニティによっていつでも過去の思い出を想起する手掛かりが与えられる。

問 7 下線部ⓖに関連して，次の**ア**～**ウ**は，平等や平和を求め，困難な状況にある人々に寄り添った人物についての説明である。その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 31

ア 黒人解放運動を指導したキング牧師は，ガンディーの思想を継承し，白人に対する非暴力・不服従の抵抗運動を展開した。

イ マザー・テレサは，キリスト教の教えに基づき，孤児や病人など，世の中から見捨てられた人々への奉仕に努めた。

ウ マララ・ユスフザイは，学ぶことの重要性を説き，男女を問わず，世界中の全ての子どもが質の高い教育を受けられるように訴えた。

①	**ア** 正	**イ** 正	**ウ** 正	②	**ア** 正	**イ** 正	**ウ** 誤
③	**ア** 正	**イ** 誤	**ウ** 正	④	**ア** 正	**イ** 誤	**ウ** 誤
⑤	**ア** 誤	**イ** 正	**ウ** 正	⑥	**ア** 誤	**イ** 正	**ウ** 誤
⑦	**ア** 誤	**イ** 誤	**ウ** 正	⑧	**ア** 誤	**イ** 誤	**ウ** 誤

問 8 下線部ⓗに関連して，ノーマライゼーションという考え方があるが，ノーマライゼーションの具体例として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

① あるデパートは，段差のある所にスロープを設置し，ベビーカーの利用者の便宜を図っている。

② ある病院は，利用案内を多言語で表示し，日本語を母語としない人たちにより確実な情報を提供している。

③ あるレストランは，適正な価格で農産物や製品を購入し，途上国の生産者や労働者の生活の保障に努めている。

④ ある自治体は，障害のある人とない人の交流を促すために，誰もが参加できるスポーツ大会を実施している。

旧倫理

問 9　次の会話は，70 ページの文章を読んで，高校生**G**と**H**が交わしたものである。70 ページの文章を踏まえて，会話中の空欄 **a** ・ **b** に入る記述の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

33

G：この文章にある地域社会の課題で，思い出すのって雪かきなんだよね。だって大変でしょ。うちの親は，向かいのお年寄りの家の前までやりなさいって言うんだ。通学路も交代で雪かきすることになっているでしょう。もうやりたくないな。

H：確かにね。でも，誰かがやらなきゃダメだし，私たちも地域の住民なんだから，仕方ないじゃない。

G：いや～，それはきれいごとじゃない？　本来，自分のことは自分でやるべきだと思うんだよ。私だって，自宅の前とか部活で使う場所とかなら，がんばって雪かきするよ。だけど，他の人が使う場所まではちょっとなあ。それって，行政が対策するべきことじゃないの？

H：でもさ，この文章に書いてあるように，［ **a** ］よね。

G：なるほどね。それは確かにそうかも。

H：うん。でも，私も全部納得しているわけじゃなくてさ。うちの近所は最近引っ越してきた人達が多くて，昔からのやり方に従わなかったり，変わったことをしたりする人もいて。なんか，居心地悪いんだよね。

G：そうか…。気持ちは分からないでもないな。だけどそれこそ，この文章にあるように，［ **b** ］かもしれないよ？

H：なるほどね。そう考えたら，ちょっとポジティブな気持ちになってきた。

G：さっき，**H**が「私たちも地域の住民なんだから」って言ったとき，私，そんなのきれいごとって返しちゃったけど，撤回するよ。確かに，これからどこに住むにしたって，どこかの地域の中にいるのは事実なんだから，その中で考えていくしかないよね。

H：そうだよね。あ～，早く大学に受かって一人暮らししたいなあ。不安もあるけど，どんな地域でどんな人や文化と関わりながら暮らせるか，楽しみになってきた。

① **a**　地域社会の課題に関しては，まずは地域住民の積極的な行動を通じて解決を目指し，それが難しい場合に行政の取組みに期待すべきだ

b　様々な課題に住民同士が取り組む中で，コミュニケーションをとる機会が増えれば，新しい住民も地域社会の文化を理解しやすくなる

② **a**　地域社会の課題に関しては，行政の取組みも重要だけど，それでは不十分なこともあり，地域住民も積極的に行動しないといけない

b　地域社会での交流が深まり，社会的なつながりができれば，新しい住民も地域社会の文化を受け入れやすくなる

③ **a**　地域社会は，住民が安心して暮らすための重要なコミュニティだから，行政に頼らず，地域住民だけで責任をもって解決すべきだ

b　新しい住民は，地域社会での様々な経験を通じて，自分たちの新しいコミュニティを築けるようになる

④ **a**　地域社会は，住民が安心して暮らすための重要なコミュニティだから，行政と地域住民が協働して様々な課題に向き合うべきだ

b　住民間の交流の機会がなくとも，時間が経てば自然に新しい住民も地域社会の文化に慣れるようになる